

Clinical cases in transomental hernias: Multi-detector row computed tomography findings

研究機関名 三豊総合病院 院長 山田大介

研究責任者 三豊総合病院 外科 宇高徹総

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

2009年から2021年にかけて、multi-detector row computed tomography (MD-CT) with multiplanar reconstruction (MPR) が術前診断に有用であった大網裂孔ヘルニアの15症例に経験した。文献を含めて後方視的に検討した。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

multi-detector row computed tomography (MD-CT) with multiplanar reconstruction (MPR) を用いて、術前診断をして緊急手術を施行し、患者を救命することが重要である。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2009年1月から2021年12月までの13年間に手術を施行して大網裂孔ヘルニアと診断された15例を対象とした。

2) 研究期間

2009年1月から2021年12月までの13年間

3) 研究方法

患者の臨床的特徴、MD-CT (Canon Aquilion-One 320 検出器) 所見、術前診断、術中所見、術式、術後経過を検討した。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用するが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除する。また、プライバシーの保護には細心の注意を払う。

1. 患者背景

研究患者番号、性別、年齢、合併症 (腎障害、肝障害、脳心血管系疾患、高血圧、脂質異常症、高尿酸血症等)。

2. 血液一般検査
特になし
3. 血液生化学検査
特になし
4. 腹部造影 CT
5. 上部内視鏡,小腸内視鏡検査
6. 病理組織学的所見

5) 外部への試料・情報の提供
なし

6) 情報の保存、二次利用

試験に使用する情報は試験用 ID（患者識別番号）を割り振り連結可能匿名化する。また、試験に使用した後の血液検体は、施設の処理要項に従って廃棄し、目的外使用や保管は行わない。

試験責任医師は、試験などの実施に係る必須文書（申請書類の控え、研究機関の長からの通知文書、各種申請書・報告書の控え、患者識別番号表、同意書、その他データの信頼性を保証するのに必要な書類または記録など）を保存し、研究発表後 5 年間保管する。

7) 研究計画書および個人情報の開示

希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができるものとする。

また、この研究における個人情報の開示は、当該患者自身が希望する場合にのみ行う。当該患者の同意により、家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えて情報提供することも可能である。

この研究は氏名、生年月日などの当該患者の個人情報を、直ちに特定できない形にして、学会や論文で発表する。

<問い合わせ・連絡先>

研究事務局

三豊総合病院

香川県観音寺市豊浜町姫浜 708

TEL0875-52-3366 FAX0875-52-4936

責任者：宇高徹総（三豊総合病院 外科）

連絡先：三豊総合病院

TEL0875-52-3366（内線 3360） FAX0875-52-4936